

株式会社ジェイコムさいたま 北局 南局 2018 年度第 1 回放送番組審議会 議事録

【日 時】 2018 年 5 月 23 日(水) 15 時 00 分～16 時 30 分

【場 所】 株式会社ジェイコムさいたま 南局会議室

<放送番組審議会委員>

ご 出 席 (五十音順)

内 木 滋 郎 様	清 水 志 摩 子 様
小 島 香 織 様	高 梨 邦 彦 様
小 林 裕 一 様	平 沼 大 二 郎 様
斎 藤 陽 子 様	町 田 伸 吉 様

ご 欠 席 (五十音順)

中 島 祥 雄 様

・事業者側から現況報告及びJ:COMチャンネルの取組みにつき、報告があった。

【審議】(平沼会長により進行)

■『デイリーニュース埼玉中央』について

(委員:カメラワークが分かりやすく良い)

・地域密着の内容で、カメラワークも分かりやすく、その場に居るかのような気分が味わえて良い。

・アナウンサーのテロップが出てすぐにアウトしたのが気になった。

・テロップそのものは、見やすく良い。

(委員:忠次プロジェクトの話題では、忠次公の人物紹介が必要)

・鈴谷地区社協の話題があったが、このような細かいコミュニティ活動を映像で伝える、というのはまさに放送会社としての公益性が感じられて、コンパクトなニュースとしては良いと感じた。

・伊奈町の「忠次プロジェクト」講演会の話題について興味を持ったが、さいたま市の視聴者は忠次公がどういう人物か知っている人は少ないであろうから、もう少し人物紹介をして欲しかった。

その方が地域のプロモーションという目的に適うのではないか。

(応答:事業者)

・おっしゃるとおりだが、ニュース番組としては2~3分という時間の制約もあり、スタッフは常にどこを取捨選択するかについて悩む。取材する側はすでに忠次公の知識を得ていた
ので、皆がわかっていると思い込んでしまったのであろう。

(委員:視聴者が何を見たいのか?を考えて制作すべき)

- ・北区の老人に優しい街づくりなど、各地域の特色が出ていて良い。
- ・「忠次プロジェクト」については、やはり視聴者が見たい(知りたい)のは忠次公の業績であ
らうから、そこは紹介すべき。
- ・上尾市の「郷土かるた大会」についても、どんなかるたなのか?幾つか例題を見たい。常
に、視聴者が何を見たいのかを考えて制作すべき。

こどもの読み手(OB)にスポットを当てたのは印象的だった。

(委員:中心市街地ばかりでなく周辺地域も取り上げて欲しい)

- ・上尾の郷土かるた大会はもう34回の歴史があるそうだが、私は初めて知った。子供会連
合会が運営していて県大会までであるとのことなので、ニュースで取り上げて広く知ってもら
うことはとても意義がある。
- ・地元密着で良いのだが、中心市街地の話題ばかりでなくもう少し周辺地域も取り上げてい
ただきたい。
- ・天気予報は、もう少し細かい地域についても表示して欲しい。
- ・第1回北区新春の集いについては、一般参加者の声も入れて欲しかった。

(応答:事業者)

- ・ご意見をいただいて、原因として思い当たることが2点ある。
1点は、良好な関係構築ができているところの取材頻度がどうしても多くなること。
2点目は、ニュースは当日か翌日放送なのでどうしても行きやすい(中心市街地)場所の
取材が多くなってしまうこと。
忠次公の件についても、放送までの制作時間が3時間しか無いとなると、「まあいいか」と
思ってしまったかも知れない。労務管理、制作体制を含めて見直したい。

(委員:取材の情報源は?)

(応答:事業者)

- ・行政を中心として、関係構築ができているところからのネタ提供、取材依頼が多い。

(委員:郷土かるたの話題なら、札をきちんと見せるべき)

- ・群馬県には「群馬かるた(上毛かるた)」というのがあって有名だが、埼玉県「21世紀郷
土かるた」については知らなかったもので、とても面白く拝見した。やはり、一つか二つは見本
の札を画面でしっかり見せるべきだった。
- ・オリンピックの番宣が入っていたが、森末慎二さんと浅田舞さんはどうやって人選したの

か？

(応答:事業者)

・リオデジャネイロオリンピック放送の際、森末慎二さんと浅田舞さんを番組メイン MC に起用。今回も引き続き二人に依頼した。

(委員:平昌オリンピック中継は普段見られない競技を楽しめた)

・リージュやスケルトンなど普段あまり見られない競技を見ることができて面白かった。
・迫る2020年の東京オリンピックは、もうめったに無いことなので、皆さんなんらかの形で係わりたいと願っている。競技の放送そのものだけでなく、例えば選手の家族を受け入れる民泊など、J:COMならではの手法でバックグラウンドも取り上げて欲しい。
・番組 MC の衣装が暗いのが気になった。明るいほうが良い

(委員:ニュースは、複数のスタッフの視点で制作を)

・忠次公の話題については、やはりはじめて見る人は「誰なの？」と思う。ニュースはスタッフ一人で撮影・編集・コメント書きまで仕上げると思うが、「ダブル目線」でチェックする体制をとれないだろうか？

・天気予報の、「最高気温・最低気温」の表示が分かりにくいと感じた。
・名刺サイズの「番組カード」はすごく良いツールだと思う。「ど・ろーかる」アプリについてもこのカードを渡すだけで、難しい説明をする必要がなくなる。
・番組 MC が(下を向いて)原稿を読むのが気になる。

(応答:事業者)

・民放などでは、カメラのレンズ前に原稿が出るので、カメラ目線で読める。機材を購入する必要がある。

(委員:アナウンサーをきちんと教育して欲しい)

・一部のアナウンサーの声がキンキンして高齢者には聞き取りづらい。もう少しアナウンスの訓練をされた方が良いのではないか。
・人が喋っているのに、その方にマイクを向けないこともあるが、それではアナウンサー失格。もう少し厳しく指導をして、本人に自覚させて欲しい。

■『ぐるっとSAI発見 商店街生中継～北浦和駅東口周辺商店街～』について

(委員:クーポン券がどこでもらえるのか分からなかった)

・とても楽しく声をあげて笑いながら拝見した。
・メインで掲げているクーポン券が何処でもらえるのかが分からなかった。そのアナウンスはすべきだった。
・CD店と煎餅店を紹介したのだが、何故そこを選んだのか？もうちょっとキャッチーなコピーで番組的にでっちあげ(嘘ではなく)ても良かったのでは。特にCD店の店長は喋りが上

手くなかったの。

(委員:ただ騒いでいるだけでメリハリが無い)

・楽しい番組ではあったが、ただ騒いでいるだけの印象で、視聴者目線に立ったメリハリを感じる事が出来なかった。

(委員:楽しいの一言だが、騒がしいイメージで良いのか?)

・楽しいの一言だが、浦和と大宮の狭間で「落ち着いた街づくりを目指す」と言うわりには、ポビーオロゴンの起用で騒がしく、イメージ的に逆かなと感じた。

・「不自由な人に優しい街づくり」というコメントが印象的だった。

(委員:他の商店街にも順次展開して欲しい)

・やむ終えない部分はあると思うが、バックの音がわあわあ入って聞き取りづらかった。

・商店街活性化は今難しい問題だと思うが、今回をモデルケースとして、他の商店街にも順次展開して欲しい。

(委員:クーポン取扱店紹介Vの店舗画像が良くない)

・ポビーオロゴンの表情が分かりづらいのでライティングを工夫すべき。

・「認知症の方にも優しい街づくり」というが、具体的な説明が欲しかった。

・イベントの全体像を最初に簡潔に紹介すべき。

・クーポンを扱うお店の写真が悪くて、分かりづらい。店の概観や店内の広い画にこだわる必要は無く、サービスが受けられるビールのUPなどでも良かったのでは?

・こういう番組の視聴率はどうなのか?

(応答:事業者)

・民放のような視聴率は取れない。

・番組の狙いは商店街への集客で、今回はその第一弾。できれば、毎週お店から中継をやりたい。5月末からデイリーニュースのコーナーとする予定。

・さいたまのメンバーはこれまで生中継をあまり経験していなかったの、今回の番組で音声、カメラ等の技術の悪い部分が露呈した。今後への課題としたい。

(委員:終始ハイテンションで疲れた、もう少しメリハリを)

・他の委員もご指摘の通り、MCの音声聞き取りづらかった。

・ポビーオロゴンが最初から最後までハイテンションで疲れた。もう少しメリハリが欲しい。

・番組のコンセプトは良いと思うので、第2弾、第3弾に期待する。

(委員:一杯飲みながら町ブラするような番組はどうか)

・楽しかったが、商店会が補助金でクーポンを作って年配の会長が出演して、というのはありきたりである。今流行っている、夜一杯呑みながら歩いて店や町の歴史を聞く、という番組づくりはどうだろうか?

(応答:事業者)

・Jテレでは「ナイトスナッカーズ」というスナック周りの番組をやっていて先日大宮取材した経緯はある。Jチャンでも検討したい。

6. 閉会(平沼会長)

私としては「ギュギュっとさいたま」の復活を希望する。

2番組の審議を終了し、これにて2018年度第1回番組審議会を閉会する。

以上